

会 議 概 要 報 告

1. 会議の名称	令和2年度潟上市自殺対策計画検討委員会
2. 開催日時・場所	令和3年3月9日（火） 16時00分～17時20分 潟上市役所 4階 大会議室
3. 委員等の人数	13人
4. 出席委員等の人数	13人
5. 議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員長あいさつ 3 新委員紹介 4 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 潟上市自殺対策計画及び各種取組の進捗状況について <ol style="list-style-type: none"> 1) 潟上市自殺対策計画の推進に向けて 2) 潟上市の自殺の現状について 3) 潟上市自殺対策計画の進捗状況について 5 その他 6 閉会
6. 傍聴者の数	0人
7. 会議資料の名称	<p>【資料1】 潟上市自殺対策計画の推進に向けて</p> <p>【資料2】 潟上市の自殺の現状について</p> <p>【資料3】 令和2年度潟上市自殺対策計画進捗確認シート</p> <p>【資料4】 相談業務に関する各課の状況調査照会結果</p> <p>【資料5】 令和2年度心はればれゲートキーパー養成講座アンケート集計結果</p> <p>【資料6】 SOSの出し方に関する教育について</p> <p>【参考資料1】 潟上市自殺対策計画検討委員会要綱</p>
8. 会議の概要	<p>議題1、1)～3)について事務局より報告及び説明。</p> <p><委員からの主な質問や意見></p> <p>質問リーフレットを配布した反応はどうか。</p> <p>回答なかなか直接反応を見る術が無いのが現状です。今年度新規事業としてこころの健康相談を開設したところ、これまで延べ15人の相談を受けていることから、それなりに周知につながっていると考えます。</p>

質問新型コロナの影響で自分自身も転職活動が上手くいかず、他にも同じような声を聞く。例年に比べて相談が多かった等があれば知りたい。

回答就職活動や金銭的・経済的な相談となると、社会福祉課が担当課になり、詳しくは伺っていないが、確認しておかなければいけないと思います。健康推進課では、新型コロナと関連して体調を崩した等の相談は目立たなかったが、相談の場が無くなりどこに相談すればいいかといった方をこころの健康相談に繋いで話を聞いたり、整理したりしています。

質問今後の潟上市としての展開、経済格差もある中でどのようにしてこころの不安を軽減していけるか、市としてできることは何かを伺いたい。

回答自殺対策に関しては特効薬がないのが現状だが、行政民間を含めて、横の連携を密にし、あらゆる手段を講じながら、結果として最悪の事態を防げるよう取り組んでいきます。

意見SOS の出し方講座については、実施後の子どもたちの反応も良く、一人で悩んでいるより相談した方が良いことや相談の仕方を分かるように伝えてもらったので、良い講座だったと思う。ぜひ続けてもらいたい。

意見ありとあらゆる病気が自殺に繋がりうることを改めて感じた。自殺予防において、SOS のサインをキャッチすることが重要である。

5. その他

各委員からの活動報告及び所感等

報告男鹿地区消防本部は旧天王町が管内。救急車の出動件数について、令和元年は764件のうち、自損7件、搬送4名、令和2年は748件のうち、自損8件、搬送4件。搬送の受け入れ先は身体合併症がない方は県の4回ルールで、①かかりつけ医、②輪番制の病院、③市立秋田総合病院、④大学病院の順と決まっているが、精神疾患の方はなかなか決まらず困っている。1～2時間現場対応していることもある。自損の方については、お話をしっかり聞いている。

報告湖東地区消防本部は旧飯田川町・昭和町が管内。今年は精神疾患の方の救急の要請はない。令和2年4月1日から今日現在まで、自損行為の要請は3件。自殺を図った方で、事情を正直に話されない方もいれば、誰かに話を聞いてほしくて話す方もいる。今後は子どもたちに命の大切さを伝えようと、コロナ禍ではあるが、心肺蘇生法の教室を計画している。

報告ハッピーネットでの相談内容は健康、経済、近所のこと。自分たちで解決できない問題は専門の機関に繋いでいる。第1・3・5水曜日はことぶき荘で電話・来所相談を行っているが、今年は新型コロナの影響で相談件数は減っている。第2火曜、第4金曜日は妹川公民館でお茶っこサロンを開いている。現在は新型コロナの影響で休んでいる。また、連絡会の名称を、自殺予防ではなく、自殺対策にしようと考えている。

報告民生委員による相談日を週1回実施している。最近では自殺関連ではなく、隣同士でのトラブルに関する相談が多い。また、一人暮らしの方には民生委員が電話で状況確認をしたり、消防や配達員の方々に確認してもらったりしている。

報告秋田中央保健所では、新型コロナ対策が優先となった一年だった。中央保健所では管内の高校生を対象に昨年からのSOSの出し方講座を実施している。去年は五城目高校で実施。今年は男鹿海洋高校で実施予定だったが、新型コロナの影響で見合わせとなった。ふきのとうホットラインは必要な人にはピンポイントで窓口が見えるはずなので、皆様に届くようにしたい。こころはれはれ通信を今年は1回発行し、在宅介護と薬局に設置いただいた。今後も皆さんにアイデアをいただきながらやっていきたい。

意見商工会には約550の加入団体とそれぞれの従業員も相当数いる。そういった方々へチラシ配布して周知活動ができればと感じた。